

学校再編についての意見交換会 意見等の要旨

対象：不動堂中学校区学校評議員

開催日時：平成28年10月12日（水）午後3時00分～

会場：駅東地域交流センター2階会議室

参加者数：6人

（評議員）

ふどうどう幼稚園で、不動堂と青生が一緒じゃないですか。せっかく小学校で仲良くなっても小学校で別れ離れになって、6年後の中学校でまた一緒になる。6年間のブランクがあるので再び友達になれるかという不安があるようだ。

（教育委員会）

幼稚園で3年間を過ごすとはやはり子どもたちは忘れない子どもたちなりに忘れない。しかし、6年間の空白とまた問題なので、交流を深めていくことによって、せっかく築き上げた友達関係を壊さないようにしなければならないと思う。

今、教育委員会では3つの中学校を先に取り組んでいる。それが動き出したらすぐに、青生小と不動堂小を手がけなくてはいけないなという考えでいる。不動堂小は40年以上も経っている。しかし、中学校の方を先に決めないといけない、両方並行してというわけにはいかない。

不動堂小と青生小の統合の問題とは別に、両校の校舎が古くなっている問題には対処しなければならない。しかし、今後中学校を新しく建設するとなった場合には、小学校も新しく建てることは町の財政上できない。多くの借金を次の子どもたちに引き継ぐことになる。その場合には、建設から40年以上も経過している不動堂小については大規模改修工事などで対応をしていく考えだ。

（評議員）

中学校では部活動の種目がなくて、ほかの中学校と連合でやっている。また、入りたい部活がなくて違う部活にはいるとか、そのような状況なので、統合すればメリットはあると思う。

（教育委員会）

400人、500人の生徒数の規模は中規模で適切だと思う。文化部でも、今は吹奏楽部と美術部しかない。これくらいの規模の中学校になれば、家庭部とかいろいろな趣味・特技の部活もできるようになる。

また、400人、500人の生徒数の規模になれば1教科複数の教員がいるので、教員同士の学び合い、教え合い、切磋琢磨もうまくできるようになる。

（評議員）

恐らく今のお母さん方も、やっぱり生徒が少ないということはもうとっくにわかってきている。もっと生徒の多い中、切磋琢磨でやりたいなというような気持ちはあると思う。

中学校がもたもたしていたら、やっぱり統廃合というのは非常に難しい。やっぱり早めにやったほうがいいと私は思う。遅過ぎるくらいだ。子供を育てるならば、やっぱり言葉では切磋琢磨、競争心とかというけれども、本当にやるならばやっぱりそういう気持ちで、親にも協力してもらわないといけない。

(評議員)

子どもたちへの教育は先生の情熱が一番だ。今の教師にはそこが少し劣っていると思う。勉強も運動ももっと情熱をもって行っていただきたい。

統廃合は本当に遅いと思う。不動堂中はプールも使えない、校舎も古い。早く進めて欲しい。

(評議員)

中学校を2つにではなく、やはり1つでいいと思う。

(評議員)

私もそうだ。

(教育委員会)

南郷中の保護者の方も小牛田も南郷も一つになって切磋琢磨してという願いを語っていた。

(評議員)

幼小中一貫校ということも考えてみた。近隣でやっているところはないか。

(教育委員会)

先日、豊里を視察した。その前には金成、それから色麻にもある。視察した豊里と金成の共通点は、どちらも小中が一校ずつであること。しかし、美里町の場合は、3つの中学校区単位で行くと小中一貫からずれていく。中学校同士の切磋琢磨もなくなる。

(評議員)

小学校は小学校、中学校は中学校ときちっと区別したほうが良い。

(評議員)

今は美里では難しい。

(評議員)

小中一貫校ではいつ中学生になったのかがわかりにくい。メリハリがなくなっているようだ。

(教育委員会)

いろいろ工夫をしているようだ。小学5、6年生にリーダーシップを持たせるために遠足だけは小中が別々に行くとか。

(評議員)

参加者が少ないことはやり方が悪いのではないか。集めて説明するのではなくいろいろ

な機会、PTA の行事になど出向いて行うなど、若い親たちの意見を聴けるように一度オープンにして行くべきと思う。あと後に、わだかまりのようなものが残らないように進めて欲しい。地区単位とか、PTA の地区の行事とかにも出向く必要があるのではないか。

(評議員)

私は、小学校の子どもたちは地域で見守って育ててあげたい。

(評議員)

誰もがそうした気持ちはある。

(教育委員会)

美里町では中学校を再編した後、町独自に 30 人未満学級を考えている。1 クラス 30 人未満にしたならそれに見合った教室も教員も必要になる。いまの計算では県から派遣される教員の数から 8 人が不足する。町の単独の予算で採用し雇うことになる。

それから、29 人のクラスを 2 クラスに分けた少人数指導や、2 クラスを 3 つに分ける習熟度別学習を取り入れる考えだ。

(評議員)

ウイノナとの交流も続いているので、その辺を町で負担するなど活用しても良いと思う。

(教育委員会)

そういった英語教育の充実にウイノナとの交流も活用していくべきと考える。4 年後には、小学校の 5 年生、6 年生も英語が教科になるので。英語の充実に町採用の教員を充てることも可能だ。

(評議員)

マンモス校は何人くらいを言うのか。

(教育委員会)

一般的に 1000 人規模と思う。

(評議員)

古川五小くらいか。

(教育委員会)

古川五小は、今 950 人なのでそれくらいだと思う。

(評議員)

駅東はどれくらいか。

(教育委員会)

不動堂小の全校の約 3 分の 1 強が駅東の子どもたちだ。

(評議員)

駅東の増える分はこの資料の表では見ていないだろうが、不動堂小学校区はもっと増える可能性がある。

(教育委員会)

今生まれている人の数から平成 39 年の中学生の生徒は、小牛田中が 170 人、不動堂中が

219人、南郷中が92人だ。

(評議員)

全校生徒数は580人から480人になる。

(評議員)

小学校区ではギャップが出てきている。不動堂小学校区だけが増えて、ほかは全体的に減っている。

(教育委員会)

平成33年には、青生小が79人、中塚小が89人になる。増えてほしいが。

(評議員)

生徒数、児童数が少ないのは、何ともならない。

(評議員)

だから、反対とか言っても、現実的にはこうだとより多くの人に話す機会が必要と思う。何のために町が中学校を1つにしようとしているのか十分に伝わらなければ、中学校が1つになるということだけが1人歩きしてしまう。禍根を残すことのないよう、時間をかけてしっかりと行ってほしい。